

2015年度 玉川学園・南大谷地区町内会自治会連合会 市政懇談会
議事録(要旨)

[日 時] 2015年11月2日(月) 15:00～17:00

[場 所] 玉川学園さくらんぼホール

[出席者] 石阪市長

防災安全担当部長 福田

地域福祉部長 須崎

建設部長 浅沼

都市づくり部長 沖

市民部長 内山

市民総務課長 宮崎

市民協働推進課長 若林

玉川学園駅前連絡所所長 尾留川

市民協働推進課(2名)

玉川学園・南大谷地区町内会自治会連合会長 ほか27名

司会進行：市民協働推進課長

玉川学園・南大谷地区町内会自治会連合会事務長

○地区連合会長の挨拶

皆さん、こんにちは。先ほどご挨拶がありましたように天気もよろしくない中、また、市長さん、市の幹部の皆さん、いろいろ私どもの要望にお答えいただけるということで、年に1度、定例的に開かせていただいていますけれども、どうぞきょうもよろしく願いいたします。

私どもでは、最初に最近の情勢ということで、2年前から市とのやりとりもありながら、玉川学園・南大谷地区協議会を7月に立ち上げ、二、三日前に実際に動き出そうということで臨時総会をしたところです。初年度の途中の時期になりましたから、広報事業を中心にやらせていただきましょうということですが、いざそういうことを始めてみますと、地域のことが、今までの町内会・自治会という立場で見ただけではなくて、いろいろ周辺の団体、民生・児童委員、青少年健全育成地区委員会、そういったところとも特に情報交換しながら始めているところですが、このような市政懇談会、市が地域にとってどういうことをやっていただけるかをまとめようとしたときに大変力強い仲間ができたなど、少し今までよりも広がってきたのではないかという感じがして、うれしく思っています。

きょうも幾つかそういうところからの発想での要望や質問を事前にお届け

してあるわけですが、この要望事項、質問事項は少し言葉足らずなところもあろうかと思っておりますので、市のほうにも前もってお知らせしてありますから、あるお答えをいただけたらと思っておりますが、さらにそれをもとに私たちの気持ちを聞いていただけたらいいかなということで、こういう懇談会を持てることは大変ありがたい機会だと思っておる次第です。

皆さんにおかれましても、この機会を逃さずという、一度きりというわけではなくて、やりとりをこれからもさせていただこうと思っておりますけれども、まとまった得がたい機会としてご利用いただけたらいいかなと思えます。市長さん、皆さんにもよろしく願いいたします。

○市長の挨拶（町田市長）

皆様、こんにちは。市長の石阪でございます。きょうは、皆さんお忙しい中、お時間をとっていただきましてありがとうございます。私どもとしても皆様方の地域づくりについては、ソフト、ハードともに一緒にやっっていこうと思っております。今、松香会長からお話がありましたが、学園と南大谷の地区協議会がスタートいたしました。本当に、まずはありがとうございます。実際に何が大事かという、やはりいろいろ抱えている問題をみんなと一緒にやるのが大事だと思います。協議会という名前ではなくて実質的なところが大事なのだと思います。ただ、地区協議会は、ここは7番目ぐらいだと思いますが、実際は町田の中では実質的にはもうスタートしているという、ここだけが先にあったところでそういう名前がついていなかったみたいなどころもあります。それから、地区社協も実態上きちんとしてきているのはここだけなので、そういう意味では、私が地域主義とか、地域分権とか、地域型予算とかいろいろ言ってきたものはかなり実現していて、地域型予算だけは実現していなかったのですが、去年から予算措置をして、活動に対してお金を出しましょうという予算制度をつくりましたので、そういう意味では、ずっと言ってきた地域分権とか地域型予算とか、そういったことが実現できたのかなと思います。

ほかの地区協議会では、まだなかなか地域の問題を見つけて解決するためのお金の使い方はうまくできていません。今までの町会・自治会の活動とどこが違うのだと言われると、どこが違うのかなみたいな活動にお金を使っていることがあるのですが、実はそれでは困るのでありまして、やはり今まで使っていたお金の使い方ではない使い方をぜひとも学園・南大谷の皆さんにはやっていただきたいと思えます。今までできなかった中身を新しいお金を使ってやるところがポイントかなと。逆に言うと、実質的にそのように活動してきたこの地域としては、ほかの地区協議会に対する見本を示すぐらいの気持ちでやっていただければありがたいと思えます。

市政の報告については2部でやらせていただきますので、よろしく願い

いたします。

○出席者の紹介

第1部 地域の要望に関する意見交換

1 地区協議会の活動拠点

① 2年前からの準備を経て、本年7月16日の設立総会で、標記の地区協議会が発足した。実質的な事業の計画、予算の申請などはこれからとなる。町田市10地区にあっては、7番目の発足となるが、これまでの経験を踏まえた経費助成、事業補助などをお願いしたい。

当事者として一番の気掛かりはこの協議会の活動にとって必須となる拠点である。玉川学園コミュニティセンターに地域活動室を設けていただけたことは有り難いが、同センターは間もなく建替の設計・工事にかかるのであるから、その間の手当ても含めてお考えを伺いたい。

また、南大谷地区では、今年度3月をめどに南大谷小学校クラブハウスができると聞いている。この施設の地区協議会利用についてもご配慮いただければと思う。

【回答】

市民協働推進課長

① 日ごろより、地区協議会等、地域のために積極的にご活躍いただき、まことにありがとうございます。

地区協議会資金支援につきましては、事業費補助として、100万円をめどに交付させていただく予定です。自由にお使いいただける補助金になっておりますので、地区協議会設立以前からも、活発に活動されている玉川学園・南大谷地区の活動をさらに発展させるなど、幅広いご活用をお願いいたします。

続いて、地区協議会の活動室につきましては、センター建てかえが終わるまでご不便をおかけし、大変申しわけございません。建てかえまでの経過措置としましては、工事が始まるまでの間は市役所や玉川学園コミュニティセンターなどの会議室を、工事期間中については市役所の会議室を優先的に予約させていただき、できるだけ活動に支障がないよう、支援させていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

また、お話にありました南大谷小学校の活用につきましては、学校長の意見であるとか所管する教育委員会の考え方もありますので、今後状況を確認しながら検討していきたいと考えております。

2 玉川学園・南大谷地域の環境整備

①地域では玉川学園交通問題協議会を組織し、さらに市、小田急バス(株)との二者協議を含むコミュニティバス推進委員会としての機能を通じて、玉ちゃんバスを2路線運行し、坂道の多い住環境での移動に活用され、その年間利用人員は約60万人、累積でゆうに500万人にのぼる。さらに今年度に入って、いわゆる南ルートでの運行開始が目前となっている。

この状況について、簡明に説明をお願いしたい。

②南大谷交差点から成瀬三ツ又に到る道路(市道町田152号線～町田175号線～南450号線)の安全対策についてはこれまでも問うてきたが、地元住民としては大きな問題である。時間の経過も踏まえて、敢えて、重ねて伺いたい。また、都市計画道路(町3・4・34)の建設は現行の5ヵ年計画(2012年度～2016年度)中に着工すると聞いているが、完成時期はいつを予定しているか。

③玉川学園コミュニティセンター建替については、昨年からは基本計画策定検討委員会が設置され、市民会議を通じて住民等の意見も述べる機会があり、それを踏まえての報告会もあった。間もなく委員会としての報告書がまとめられようとしているところである。

この計画はセンターの建替自体に留まらず、駅周辺の環境(いわゆる駅前整備計画)にも大きな影響があるので、センター利用者だけでなく、地元住民との相互理解が今後必要になるだろう。そのような機会を担保できる、今後の進め方について伺いたい。

【回答】

都市づくり部長

①玉ちゃんバス南ルート運行につきましては、玉川学園コミュニティバス推進委員会の役員の皆様、バス停留所設置箇所の地先交渉等の調整を進めていただきお礼申し上げます。

市では、2015年4月から、バス運行に必要な道路拡幅工事や交通安全施設設置等の走行環境整備工事を実施し、2015年10月に同工事を完了したところでございます。

現在は、小田急バス株式会社が、バス運行開始に向けて、国土交通省関東運輸局の許可申請手続を進めており、2016年1月ごろに同手続が完了する予定です。

今後は、2016年1月の運行開始を目指し、玉川学園コミュニティバス推進委員会と協力して、ルート沿道地域への周知活動を進めてまいります。

建設部長

②南大谷交差点から成瀬三ツ又に至る道路については、カラー舗装や看板設置など、運転者への注意喚起を実施しております。当該道路については、平行し

て、【本町田金森線】都市計画道路3・4・34号線が計画されているため、現道を拡幅することは考えておりません。

【本町田金森線】都市計画道路3・4・34号線は、現在、金森地区の藤沢街道と町田街道の区間で事業中です。

なお、南大谷地区の区間につきましては、昨年度から今年度にかけて測量及び予備設計を行い、関係部署との協議を進めているところです。

市民部長

③地元住民代表も参加した「玉川学園コミュニティセンター建替基本計画策定検討委員会」からは、10回に及ぶ検討の結果である「玉川学園コミュニティセンター建替基本計画に関する報告書」をいただいています。

その中では、玉川学園コミュニティセンター建てかえの内容とともに、小田急線玉川学園前駅から玉川学園コミュニティセンター敷地までの歩道デッキ設置は、コミュニティセンターへの円滑なアプローチ及び地域のバリアフリーにとって必要との考えが示されています。

町田市では、この報告に基づいて、玉川学園コミュニティセンター建てかえと歩道デッキ設置を高低差の調整も含めて、一体的に、同時期に行っていく予定です。

歩道デッキについては、具体的なイメージ図を示して、周知・説明を行っていきたいと考えます。

なお、コミュニティセンター建てかえに伴いアクセス性向上も求められることから、ご指摘のとおり駅周辺環境改善も考えていく必要があると考えます。今後については、駅北口の交通環境整備の検討も必要になり、その際、駅前道路内のケヤキの撤去措置も考える必要があると思います。

こうした中でさらに言わせていただきますと、先般建設部に確認しましたら、ケヤキに腐朽菌がかなり入り込んでいることをお聞きしました。完全に腐朽を待つよりも新しいコミュニティセンターのしかるべきところにこのケヤキを、跡が残るように年輪の展示をすとか、あるいはつい立てなどに木目を利用して活用できたら、さらに風格のあるコミュニティセンターができるのかなと考えているところでございます。よろしく願いいたします。

3 防犯防災に取り組むまちづくり

①本年は、台風、豪雨、噴火などによる土砂災害が多発し、町田市民にも多大の緊張感を与えた。7月の忠生地区のハザードマップ発表に続いて、玉川学園・南大谷地域に関わる調査の進捗状況を伺いたい。

②先般東京都は「東京防災」なる冊子を都民に配布した。読みやすいと好評で、参考になるべき点も多い。ただし300ページを超える情報は非常時向きとは言えない。町田市にあっては、これを参考に、非常時に頼れるマニュアル化して

はどうか。玉南連あるいは地区協議会でも検討したいが、共通化できれば効率も良いと思われる。

③玉川学園・南大谷地区は、比較的安全な地域であると受け止められてきたが、時代の推移に沿った変化もあってか、他地区と比較しても必ずしも安全度が高いと言えないというデータが示された。一方で、児童の安全確保のために小学校を中心に防犯カメラの設置が進められ、先行した南大谷小学校周辺では明らかな効果が認められたということである。児童の安全は優先されるべきではあるが、公共施設周辺に防犯カメラの設置を進めることも必要かも知れない。当該地域と図って、助成制度を設けることは出来ないか。

④町田市では、非常時用に街灯「消えないまちだ君」を推奨している。これの採用計画(助成事業)を制度化してはいかがか。

【回答】

防災安全担当部長

①町田市が本年7月に発行いたしました忠生地区のハザードマップは、土砂災害に関するハザードマップです。これは土砂災害防止法に基づきまして、忠生地区の土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域の指定を本年6月30日に東京都が完了したことを受けて作成したものです。東京都によりますと、玉川学園・南大谷地区に関しましては、今年度から調査を開始するとのことで、土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域の指定は、今後2年から3年で完了予定であるとのことです。その後、町田市としましては、玉川学園・南大谷地区の土砂災害ハザードマップを作成し発行いたします。

②町田市では、災害時の行動マニュアルといたしまして、「町田市防災ガイド」という冊子を、2014年に作成いたしました。これは家庭での備蓄や情報獲得手段などの日ごろからの心がけや地震発生時の避難行動の目安などを24ページにまとめた冊子です。この冊子を、市職員による防災講話を受けていただいた方々にお配りしておりますので、各町内会・自治会で防災講話の機会を設けていただき、「町田市防災ガイド」を地域での自主防災活動にぜひご活用ください。

町田市ではこれ以外にも、「町田市防災マップ」や「町田市洪水ハザードマップ」も作成しております。これらにもそれぞれの災害に合わせた防災情報を掲載しておりますので、ご活用いただきたいと思います。

「東京防災」のマニュアル化に関しましては、例えば、地域の危険な箇所などを点検し、それを記したマップと「東京防災」の必要なページを抜粋したものを組み合わせるなどといったことを、地域の子どもたちと一緒に、地区協議会の活動として取り組んでみてはいかがでしょうか。

③町田市では、過去に町田駅周辺の中心市街地で犯罪発生状況が極端に高かったことから、中心市街地に限定をした助成制度を実施していました。

この制度については、おおむね要所への防犯カメラの設置が完了したことや、要望がなくなったことから、2013年度で既に終了しております。

現在、この助成制度により設置された防犯カメラについては、地域の方が防犯カメラの運営委員会を設置して、厳格なルールの下に管理、運営、維持などを行っております。

防犯カメラについては、プライバシーの問題、管理運営の問題、費用の問題などさまざまな課題があるため、すぐに防犯カメラを設置することは困難な状況にあります。

市では、各種迷惑行為などの対策として、防犯啓発看板を用意していますので、申請をしていただいた住民の方に貸与を行っておりますので、ぜひご利用していただきたいと考えております。

④「消えないまちだ君」についてご理解いただき、ありがとうございます。

東日本大震災では市内でも街路灯が点灯せず、夜間の帰宅困難者等に支障を来しました。この教訓を生かし、夜間の停電時でも街路灯を点灯させ、避難道路等の安全を確保することができるように多摩高度化事業協同組合と共同で開発されたのが「消えないまちだ君」となります。

「消えないまちだ君」は現在、市内各駅の周辺道路に約120カ所設置されているほか、公共施設や公園等合わせて約150カ所に設置されております。

また、2015年度以降は、町田市地域防災計画に基づき、町田市第一次啓開道路及び第二次啓開道路に順次設置を予定しております。

このため、自主防災組織を対象とした「消えないまちだ君」の助成制度の創設につきましては、現時点では検討しておりませんので、ご理解いただきますようお願いいたします。

4 住み良い福祉のまちづくりの充実について

①玉川学園地区社会福祉協議会を設立して5年が経過した。これまでは加盟する32団体独自の福祉活動に加えて、ネットワーク運営会議を通じて、相互の連携を図り、一方でそれぞれの活動情報を交換する活動を進めてきた。いよいよ独自の「地域に根ざした日常支援活動」としての「玉ちゃんサービス」を活動開始すべく準備を進めている。これまでの活動よりも各種ノウハウが必要とされ、かつ資金の確保に困難が予想される。活動内容をご理解の上、コーディネータ或いはアドバイザーの派遣とか、資金助成などについてご高配頂ければ幸いである。

【回答】

地域福祉部長

④町田市では第二次地域福祉計画に基づき、地域の拠点づくりのために中心的な役割を果たす「地域福祉健康連絡会」を各地区に設立し、推進することを目

標としてきました。

その一環として、町田市地域福祉計画推進事業補助金交付要綱に基づき、玉川学園地区社会福祉協議会に対して、補助金の交付を、2013年度～2015年度まで支援させていただいております。

現在、来年からの第三次地域福祉計画の策定を進めております。地域での取り組み等を伺う機会を設けさせていただく予定です。

今後は、項目1で出てくる、玉川学園・南大谷地区の「地区協議会」の中で、玉川学園地区社会福祉協議会がよりよい活動を継続することができるよう、市民協働推進課を初め関連部署との話し合いや、町田市社会福祉協議会と次の地域福祉活動計画での支援について協議を進めてまいります。

《質疑》

南大谷町内会

南大谷町内会の〇〇でございます。

いつも耳にたこができていくということで、浅沼部長からもご回答がありましたけれども、2の②の南大谷交差点から成瀬三ツ又に至る道路の件でございます。この都市計画道路の完成時期について質問させていただいておりますが、これについて部長からご回答をいただいているので、もしもわかったらご回答いただきたいことと、もう1つ、これは石阪市長にぜひご見解をいただきたいのですが、この南大谷の道路が非常に危険だということは市長も十分承知だということで以前からお聞きしておるのですが、今、浅沼部長から回答いただけるのは相当先の完成時期であると思います。その間、この道路が危険なのはやむを得ないと市長も考えておられるのか、それとも何か手を打つべきだと考えておられるのかの見解をお伺いしたい。その2点をよろしく願いいたします。

建設部長

先ほど、完成時期を私は回答させていただいておりません。この都市計画道路に関しましては、今お話がございました第三次事業化計画に現在入っておりますが、今年度で終了するというので、先ほど申し上げました金森の部分で事業中でございます。今ご相談いただいている南大谷から三ツ又の部分に関しましては、先ほど申し上げました測量と、あと関係部署、小田急電鉄、警視庁、それと河川が重なっているということがございまして、これは東京都の河川関係のところと協議をしているところでございます。完成時期ですけれども、これは、まずこの道路の計画決定、認可をとりまして、それから用地の取得に入ります。そして最終的にまた工事という形になりますので、はっきりこの場で何年に完成しますというのとはお答えができませんが、今お話がございました現道が危ないことに関しましては認識をしてお

りますので、この都市計画道路については早く手がけたいということで現在協議をしているところでございます。申しわけございませんが、完成時期については、この場ではお答えできないところでございます。

町田市長

今部長のほうでお答えしましたが、あそこはどちらから行っても峠です。峠というのは変ですけれども。峠のところは車がとめられないし、できれば徐行しなさいということで非常に危ないです。そこに横断歩道をつくること自体も非常に、あそこを渡るのは本当に危ないのです。では歩道を通ればいいではないかということと余り歩道もないし、こちら側は特に歩道がないわけです。あと残っているのはかしの木山の崖を、崩せるかどうかはわかりませんが、崖のところは歩道をつくる以外に今のところ安全確保策はありません。特に峠に近いところ、一番山の上に近いところは何とか手を打たないと非常に危ないとは思っています。そういうことをしつこく言っているものだから、部長のほうは、あれがあるのでこちらの道路を早くつくらなければいけないということで時間が非常にかかります。それまでの間に何か手が打てないかということは、部長には話はしています。

玉川学園地区社会福祉協議会

玉川学園地区社会福祉協議会の理事をしております〇〇と申します。

住み良い福祉のまちづくりの充実についてのところで、玉ちゃんサービスの活動の内容をご理解の上ということで、この活動についてご説明したいと思えます。須崎部長から先ほどのお話があったのですけれども、これからご検討される中で、我々の活動についてご理解をいただいて、それからいろいろな形での打ち合わせでご支援をお願いしたいと思っております。

まず、玉川学園地区社会福祉協議会の事務所費のご援助について、ご支援ありがとうございます。今回は日常生活支援保護サービスということで、玉ちゃんサービスについては、地区社協ができてから地域に根差したどんな活動ができるのかということで、1年以上前からずっと検討してきました。それで、最初、地域住民の参加によって高齢者、子育て世代をみんなで助け合う有償ボランティア活動が一番いいのではないかと。調査したところ、東京都23区の社会福祉協議会、相模原市、日野市などほとんど社協の事業としてやっております。あと岐阜県大垣市のライフサポート、これはNHKにも出ましたけれども、市からの補助金を受けてNPOでやっています。この近くでは立川市の大山団地で、これもNHKでやりましたけれども、あくまで自治体を中心で同じようなサービスをやっています。そういうことを調査し、また、我々が考えておったように住民がやることなのでどういったトラブルがあるのかも調査しましたが、予想したほど多くなく、住民同士の助け合いの

活動としては有効であることがわかりました。町田市では、団地の自治会で藤の台団地が助け合い、これは小規模な形でやっております。あとは地域での同事業について町田市社会福祉協議会に相談したのですが、社協はやっていないということなので、豊島社協に直接ご紹介いただいて、訪問してヒアリング、そのほか日野社協にも訪問してヒアリングを行いました。その結果、果たしてニーズがあるのかというところで、2014年の市からのご支援によって実施した見守りアンケートでの回答者5365人のうち737名の方が利用したいという回答がありました。それを踏まえて、ことしの総会でこの事業をやりましょうということで、10月から住民参加によるサービスを開始しようということでスタートしました。ただ、全く初めてのことなので2016年3月まではこの事業のかなめであるノウハウの蓄積、それと事務体制の構築を目標にしながら、走りながらとりあえずやって、それをスタートでやっさいこうと。現在、10月の第1回の協力者への研修会を行いました。協力者登録は地区社協の理事を含めて約30名登録してもらっています。既に現在、4件ほどの掃除とか草むしりとか、そういう利用の申し込みはあります。

この事業の仕組みとしましては、利用者が依頼したい家事などを地区社協に依頼します。コーディネーターが利用者に連絡し、自宅に訪問し、この事業の説明をして依頼内容を確認する。また事務所に戻り、協力者を探します。登録した協力者がいれば、その人に連絡して依頼内容を説明し、協力いただけることを確認。利用者と協力者の日程調整、後日、協力者と一緒に利用者宅に訪問する。利用者と協力者とを引き合わせて最終確認を行うということで、コーディネーターは利用者、協力者の依頼内容の調整、トラブル、保険、事故など、いわゆる全ての業務を行うということでかなりの負担になると思います。現在、町内会・自治会への説明会などを実施して、このコーディネーターと協力者と利用者の募集をこれから順次行う予定です。

この事業の課題としましては、コーディネーター、事務員へ支払う人件費の財源が全くないということです。これは利用者から800円もらって協力者の方に600円払うという、その200円が運営経費になるのですが、コーディネーターさんが利用者に電話して調整するというので、電話代だけでほとんど消えてしまう状態です。それと事務は個人情報を取り扱います。金銭の授受などの責任を伴う仕事であり、しっかりとした事務スタッフ、それに対する対価が必要だと。現状は火水木を店当番として電話の受け付けだけしている体制ですが、これからは月火水木金ということで、個人情報、金銭の授受などを扱える状態にどういう形でもっていったらいいのか、人件費も含めてこれからの検討課題です。来年の3月までは、こういう問題とかノウハウ、トラブルに対して徐々に経験して体制をつくっていくということで、コーディネーターの確保や資金の確保、特に件数がふえてきた場合、相当の困難が予想されますので、そういう意味での調整をお願いしたい。ですから、あくまでもこれは今までの事務所

費の補助ではなくて、新しい玉ちゃん事業に対しての補助ということでご理解をよろしくお願いいたします。

地域福祉部長

玉ちゃんサービスということで、私どものほうもまた後日、場を改めて情報を共有して、何ができるか、どういうサポートができるかのお話し合いを持つ機会をお願いしたいと思います。

(司会) 地区連合会事務長

補足をさせていただきますと、先ほど申し上げました地区協議会、その中でも2016年度以降の具体的ないろいろな課題を、実は29日の臨時総会で皆さんで検討いたしました。その中に玉ちゃんサービスも入っております。ですから、今ご回答いただいた中、それから地区協議会でどこまで事業計画としてできるかはこれから検討していかなければならないことだと思います。その点もお含みいただければと思います。よろしゅうございますでしょうか。

玉川学園地区社会福祉協議会

地区社協の副代表をしております〇〇と申します。

須崎部長にお願いしたいのですが、私たちは地区社協ですから子育てから高齢者の支援までということで、世代は若い人から高齢者までということで今しております。ここでリンクしてくるのは、介護保険が改正になって住民主体の総合支援事業が検討されていると思いますが、17年4月から開始と伺っております。今15年も下半期に入っていますので16年1年かかると思うのですが、こうやってモデル的にそういう制度を使ってさせていただくとか、チェックとか、こうするにはこういうというご意見とかを聞きながら、着実にボタンのかけ違いのないように、地域でそれを目指して事業ができるようにしたいと考えておりますので、なるだけご支援をいただきたいと思っています。

地域福祉部長

今のご意見も含めて、また別の機会を持って、介護保険のほうはいきいき生活部という部署がありまして、そういうところを含めて関係部署との話し合いの中で対応していけたらと考えております。ありがとうございます。

玉川学園地区まちづくりの会

玉川学園地区まちづくりの会の〇〇です。

きょうは、連合会主催の懇談会にお招きいただきありがとうございます。幾つかお聞きしたいことがありますので、よろしくお願いいたします。2番

の③環境整備のところ、先ほど3番について市民部長がお答えになりましたが、この中の下から3行目の部分、「建替自体に留まらず、駅周辺の環境（いわゆる駅前整備計画）にも大きな影響があるので、センター利用者だけでなく、地域住民との相互理解が今後も必要になろう」と書かれています。これは、ある部分、2012年に同様の懇談会で、当時の都市づくり部長がお答えになりました。一部の回答なのですが、駅周辺整備に関しては地域の町内会、地元住民と十分話し合いながら進めていきたいというお話でした。かつ、この部分に関してはまちづくりの会とも連合会とも協働で、以前、たしか、まちづくりプラン案の中間報告として駅周辺のまちづくり方針として挙げたわけです。それとまた、都市計画マスタープランの中で、地域別構想の中で駅前のことも言及されていると思います。そういった観点から都市づくり部長に、駅周辺の町田市としてのビジョンをどのようにお持ちなのかお聞きしたいのですが、よろしくをお願いします。

都市づくり部長

申しわけありません。今、この学園の都市マスタープランの資料を持ち合わせていなくて、自分の記憶の中にもはっきりとは。この場で間違ったことを言うてしまうとまずいのですが、基本は、地区の中の都市計画マスタープランにももちろん書いてありますけれども、この地域はまちづくりの会があって皆さん地域で話し合いをされて、都市計画マスタープランの地域別方針をつくる時にはそういうご意見を取り入れてつくっていくことになりますので、そちらと。それから、もちろんそれから時間が流れて状況が変わってきています。そういう中で、やはり地域でよく合意を得たもので進めていく必要があると思っています。

（司会）地区連合会事務長

ありがとうございます。大変難しい問題でございますけれども、この件につきましては、〇〇さん、これでよろしゅうございますか。よろしゅうございますかというのは変ですけれども。

玉川学園地区まちづくりの会

はい、いろいろ協議するという形で進めていきたいと思えます。

第2部 市政全般に関する意見交換

市長からの市政報告

それでは、第2部ということで幾つかお話をさせていただいて、40分か45分くらいのところで皆さんから今度は質問なりをいただく時間をとりたと思

いますので、よろしくお願ひいたします。

まず最近の話題ですけれども、新聞に出てきていますが、木曾山崎団地は、桜美林大学がキャンパスをつくるとして、旧本町田中学校と旧本町田西小学校の敷地を借りるということで協定ができました。来年の1月になりますと本契約というんでしょうか、実は借地料をいくらにするのか細かいことまでぐちゃぐちゃやっていると時間もかかるので、もう貸しますという最終的な決定はしました。ですから、あとは時間が来れば借地料は決まります。1月までには引渡しになっています。桜美林大学のほうも引き渡していただければ現場に入れませんので、1月には桜美林大学に3万㎡を引き渡すことになりました。建物は、旧本町田中学校は廃校になって耐震工事をしていないので、ただでお渡しします。そのまま使えない建物ですからお金を取るのもまずいかなというところがありまして。もう1つの旧本町田西小学校は取り壊すと言っております。つまり、大学としては旧本町田中学校を補強して使うのだらうと思います。そんなことで、2018年4月開校、16年度と17年度の2カ年かけて工事をするつもりで今事業を進めております。桜美林大学は既に団地といろいろなイベントの協力とかを一緒にやっていますので、それなりに木曾山崎団地の人たちはなじみがあります。そのようなことを、今後大学の一部が来るということで拡充しようという計画になっております。これは私は全然聞いていなかったのですけれども、できれば学生を住ませたいという話をしていました。上の階はエレベーターがないから確かに人気がないのですが、学生の場合は階段を上がれないという人はいないから大体上のほうの階に住まわそうとどうも大学では思っているようですが、まだ具体的にどうだという話にはなっておりません。そうすると、団地の中に若い住民が来るみたいな話になります。それはプラスになるのではないかというのを私どもも歓迎をしているところであります。

それから先の話で、もっと最近ですと、旭化成建材という会社がありまして、私どももまだ民間のマンションは調べていませんが、公共施設のほうは、こういう事例はありませんということだけわかりました。あかね台中学校がこのあたりにあるのですけれども、あそこの中学校は旭化成建材がやっているらしいのですが、横浜市はあかね台の中学校は大丈夫ですと言っています。どうしてそう断言できるのか知りませんが、それは向こうの話ですから大丈夫ですと言っています。私どものほうは公共施設に旭化成建材の杭工事はないようです。民間のほうは私どもは直接調べられませんのでまだ調べておりませんが、公共のほうは大丈夫ですということでお知らせをさせていただきます。該当しておりません。

それから、公園の話ですが、薬師池公園は、明日かいぼりをします。というか、もう既に現場は水が大分抜けております。きょう雨が降ったのでどれだけまた戻っているかわかりませんが、明日かいぼりをして中のものを全部出してしまおうということで、冬場ずっと干す作業になります。3月に終わる計画で

あります。胴長の長靴、この辺まであるゴム長を明日はかせられることになっています。転ばなければ何とかなるのですけれども、転ぶと結構大変なことになります。あれは足が抜けなくなるのです。思い切り抜こうとすると抜けた瞬間に転ぶので、気をつけなければいけないと思っていますが、何とか明日でそのイベントも終わりますので、3カ月か4カ月ぐらい干して、それから水を入れる。干すことによって地中に、いわゆる有機リンが潜って水に溶け出さないような状態になるということを聞きました。もちろんかなりの部分でヘドロをとってしまいます。それを、今はよくわからないのですが、どこかに利用する形で搬出先を探しております。そのままですと産業廃棄物になって非常に高いことになるので、どこかで利用していただきたい。そのまま産廃ですと、それだけで1億円ぐらいかかるというとんでもない話でありますので、何かにご利用しようというふうにしております。

それから、芹ヶ谷公園については、既にもうご案内のとおり、今ある博物館の工芸部門の引っ越しをメインに工芸美術館で構想ができておりまして、設計者が決まりましたので設計作業に入るということです。谷の中に4階建てか5階建てを建てます。あそこは一種住専で、高さは10m制限です。実際の建物は20mぐらいの高さになると思います。建築審査会みたいなことをやらないとそういうのはオーケーが出ないのですが、ただ、谷の中につくるものですから頭が出るわけではないのですけれども、屋上部分と原町田の地べたを同じようにフラットにしようと考えています。どこかで聞いた話だと思ったら、実は玉川学園コミュニティセンター方式なのです。要するに、住民が建物に附属しているエレベーターで下から上に上がって移動するようにしようというのを、どっちが先になるかわかりませんが、ここと同じような考え方で、その建物を使わない人がエレベーターを使って上へ上がって次のところへ行く、エレベーターを使って下がってくると。もちろんその建物に来る人は当たり前ですが、そうではない通過するだけの人も使えるという設計を今工芸美術館ではやろうとしています。横に伊藤病院という病院があるのですが、そこの坂が非常に危ないので、そこからエレベーターでといえば実際に危険なしに版画美術館にも新しくできる工芸美術館にも行けるようになると思います。当然、反対側の住宅にも行けることになるわけで、そちら側が駅へ行くルートになるのかなと。住民にとってもそういう使い方ができるのかなと思います。それは学園の上の、あの駐輪場から建物のエレベーターで下がって駅に行かれるのと同じような物の考え方をしています。

それから、野津田公園のほうは今用地買収をしようとして、具体的に一番最初に言っているのは、角川書店という本屋さんが倉庫だか何かがあったのです。そこと今交渉しております。

それから、清掃工場ですが、役所がつくって民間が運営するということなのですが、公設民営方式で業者を選定する作業に入りました。選定するといっ

も、今どのようにやるか、どういう事業者にどういう要求をするかを事業者選考委員会を設けてスタートしました。1年間、来年の9月までやって来年の12月には事業者を決定しようということで、その決定した事業者は建物を請け負うのと、これは町田市がお金を払うのですが、運営を請け負う、これも町田市がお金を払うのですが、全部、建設も運営も途中の補修も全部1社なりが引き受ける方式で、幾らでそれをやるかということになっています。この業界は非常に数が少いため、どうやって競争を担保するかが非常に難しい要素になっています。もっと大きなのは、今働いている人がどうなってしまうのかがもう1つの問題です。

それから、容器包装プラスチックについては年明けの2月からJRの南側が分別になります。これは鶴間にある藤和マンションの下にプラスチックの圧縮施設ができます。12月中に工事を終える予定で進めており、試運転を兼ねた収集を2月から始める予定です。ただし、事業上は4月からということになっているので、2月、3月は、基本的にはただということなので、4月になると今の黄色い袋の半額の値段の袋を売って、プラスチックの袋のほうが安いですよといって、プラスチックはこっちに入れてくださいと。実際にかさばるので、それを抜いてそちらへ入れてしまえば黄色いほうに入れる量は相当減るのではないかと思います。それが2月からスタートいたします。

子どもセンターですが、町田の子どもセンターは大体でき上がりました。今内装に取りかかっておりまして、できれば4月の末、あるいは5月の子どもの日までにオープンさせろと言っているのですけれども、何とか今それを目指してやっておりますので、最終的な追い込みになっています。ここはコンセプト的には、小さな子どもを持っているお母さんのお休みどころ、そこへ行って休んでもらおうと。子どもをほっぽらかして疲れたというと、車に放置してパチンコというわけにいかないの、子ども連れでそこに休みに来てもらおうという施設が3分の1ぐらいの機能を持っています。それと、スタジオだけでも2つぐらいあって、中高生に少しサービス、広域な利用を想定しているということで、少しほかの子どもセンターとは違う要素があります。駅の近くです。小田急線を超えて旧市役所のところ、陸橋の少し学園寄りですから、もちろん歩いて行けますので、疲れたら子どもセンターへ行こうと。子ども抜きで行ってしまうと、あなたは何しに来たのとなってしまうから、そこは難しいのかもしれませんが、そういう施設になるかと思っています。

最近の話題としてはそんなところですが、一般的な話として保育園の話ですが、保育所の待機児童はことし153人でした。去年が203人ぐらいいたのかな。ですから、50人ぐらい減りました。その前が250人ぐらいいましたので、おととしから比べると100人ぐらい減りました。何とか来年の4月には100を切ることを目指しているのですが、本当に切るかどうかはわかりません。子どもの数は減っているのですが、保育所希望率がふえている。結局申し込む人はふ

えているという状況です。ですから、毎年毎年定員枠をふやしているのですが、それでも待機児童が出てしまう状況は変わっておりません。そういう意味では、保育園のニーズにまだまだ応えられない。一番頑張ってやればいいのですが、なかなか大変なのは保育料、これが幼稚園との差が余りないのです。幼稚園と差をつけたほうがいいかなとって、幼稚園を値下げするわけにいかなければ保育園を値上げするかと簡単に言うのですけれども、そう簡単に保育園の保育料を値上げするわけにはいかないので困っています。どっちに預けるかというときに、どうしてもお金のことを考えます。保育園も幼稚園も同じだったら、では保育園かなと、それも困るので、保育園をもう少し高くしたいのが本音なのですけれども、そうしましょう、そうしましょうという親御さんが1人もいませんのでなかなかできないと思います。

保育園については、今日配ったものの6ページ、7ページを見ていただきたいのですけれども、7ページに行政コスト計算がありまして、これは民間の保育園の話なのですが、93億円ぐらい運営にかかるということです。収入はどうなっているかという56億何がしで、市税は36億何がし。保育料収入が13億3335万円と収入のすぐ次に書いてあります。割合が14.3ということです。下を見ていただきますと円グラフがありまして、その下に民間保育所運営費1人当たりのコストが書いてあります。1人というのは、子ども1人預かると幾らかかるかという年間161万776円かかります。そのうち、今言いましたように14.3%ですから、保育料が大体20万円、平均で月1万5000円ぐらい。実際にコストとしては、ゼロ歳児だと3万円とか4万円とかかかるのですけれども、平均でいうと1万5000円をいただいています。そのほかは円グラフにあるとおり、国と都の支出金と市税等でやっているということで、年間約160万円だから月に13万円ぐらいかかるのですかね、13万円のうちの1万5000円を負担してもらっているということなので、大体それぐらいが保育の費用と保護者の負担の関係ということです。私ども町田市の保育料は東京都内のほかの市に比べてそんなに安くはないです。だけれども、やはり全体としては少し安いのかなと。特に幼稚園と比べて。幼稚園は4時間とか5時間ぐらい、町田市の場合は保育所は標準11時間ですから、これでこれだけ差がないというのも、実は結構低目なのです。そういう意味で保育のほうにという方が多いです。保育料としてはそんなに違わなくて働きに出られる状態と、同じように払うけれども、4時間で、行ったと思ったらすぐ帰ってくるのが幼稚園ですから、そういう差があるというのは、働いている人、働いていない人も共通した実感ではないかと思えます。

それから、高齢者の話ですが、特別養護老人ホームをずっとつくっています。3年前から建設にあたっての補助金額を減らしてしまいましたが、一昨年からはやめてしまいました。当時、それまでは1人当たり600万円補助金を出していました。当時で東京都で四百何万で、1床当たり1000万円の補助金を出して

いました。今も東京都からはかなり出ていますけれども、1000万円には行きません。今はもうちょっと上がっていますけれども、当時の建設費でいうと100人定員で20億円が相場です。1人分2000万円。1人分2000万円のところへ1000万円の補助金ということなので、日本全国そんなことをやっていたところはなくて、全国から町田市で特養をやりたいと言ってきました。青森や栃木、いろいろなところから来ています。最初は日光の事業者が下小山田町で、この特養の補助金ベースでいうと第1号の事業者です。あるいは成瀬ですと、稲城の事業者が来ています。全国から来ていまして、私どもとしては、たくさんつくってたくさん市民に入居してもらおうということでやってきています。その結果どうなったかという、2009年、6年前の今ごろの入所待ち期間、入所申し込みしてから1年以内に入れたのが45%です。もちろん、要介護度3以上の方がほとんどです。去年の段階、2014年が75%。ですから、今はもう申し込んで1年以内に入る人が大半です。それだけ建物ができて入所しているということです。特別養護老人ホームは民間の事業者にやっていただいて、それを東京都と町田市が補助金を出してつくるということなのですが、ほかの市の場合は東京都の補助金でやっています。町田市の場合はそれに上乗せして市が出していますから非常に整備が進んでいるということです。もちろん、それに伴う雇用が生じていますから全く持ち出しというわけではないですが、市内に特別養護老人ホームができて遠くから通っている人は少ないですから、大体近くの人が雇用されますので、そういう意味では市内の雇用も大きくなっていると思います。

今後まだまだ少しずつ施設のオープンが続きまして、今年度に鶴間に1カ所、来年度に南大谷に1カ所、再来年度に山崎町に1カ所、つくる予定になっています。

それから事業の話で、道路の話が先ほど出ましたが、南町田のほうの話です。高速道路、東名横浜町田インターを使っていると物すごく混みます。あんなところはおりないほうがいいのかというのがこの半年ぐらいの話。あと半年はあそこをおりないほうがいいのかと思います。あそこをおりると246にたどり着くまでに20分ぐらいかかります。500mを20分かけているなら歩いて行くほうが早いですけれども、まさか車を捨てて歩けないので、あそこでおりないでほかを回ったほうがいいのか。回れる人は海老名から回るか、横浜青葉から回ったほうが早いと思います。この辺の人は青葉のほうがよっぽど早い。でも来年の3月、本当はおくれるといううわさもあるのでありますが、まだわかりません。3月には開通します。開通して、246は、今16号の上を超えています。その上をさらに超えて橋をつくっていますので、それが3月までに終わりますと、今度は町田でおりるのがすごく早くなります。16号と246の立体の上をさらに超えていってしまいますので非常に早く着きます。というか、下におりる車がないですから下の道が今度はすいてしまうという関係になっていまして、実は

この事業ができると、東京へ行く、東名に行くいろいろな作業が非常に楽になりまして、横浜町田インターと南町田の間は非常に近いですから、南町田駅前からそのまま東名インターに入れてしまいますから、横浜青葉に行って、2年ぐらい先になると横浜青葉から港北インターのほうに行って、港北インターの先で潜って地上に出たら生麦に出て、生麦から多摩川を渡ったら羽田まで行くということで、羽田から町田まで大体40分かからないと思います。高速でそのまま南町田から羽田まで直結しています。1回もおりません。信号がゼロです。信号ゼロのまま南町田から羽田まで行ってしまうという計画になっています。横浜の道路が平成33年度といわれていますので、そんなに先ではないです。ですから、非常に早くなる。

東急電鉄はそれを見越して南町田の開発をしようということになっています。結局、東名だとか保土ヶ谷バイパス経由では非常に時間がかかるし帰りも大変なのでお客さんが来ないので。ですから、今後それができれば非常にスムーズに来られるので、駐車場を一気にふやしてというので東急としては開発を進めているというのが、裏側はそういう話になっています。もちろんもう1つあるのですけれども、今のグランベリーモールそのものが空調が壊れたりいろいろしています。設備の耐用年数でもう15年たっているのです。ですから、時々壊れ始めていますので、もうそろそろ限界だということで、今の話だと2016年度であそこはやめてしまつて工事に入ることにしているようです。

最近の状況はよくわからないですけれども、海老名では先週末にオープンしましたので、それがどこまで町田の商店街の売り上げに影響するかは、今年1年、12月になって見てみないとわからないです。もっと正確に言うと、1年以内に今までのお客さんが町田に戻ってくるか、とりあえずおもしろそうだなと行ってらば一とまで行く人は必ずいますから、この中でも行きたいと思っている人はいると思いますけれども、問題は戻ってくるかです。行ったらそれきりだと町田の商店街は干上がってしまいますので、できれば戻ってきてくださいということは期待をしておりますが、実際にどれだけ戻ってくるか1年ぐらいいないとわからないし、戻ってこなければ町田の経済にも大きな影響が出ると思っております。

町田市では2012年から企業会計に近い複式簿記を導入してやっております。それに基づいて、原価計算というのでしょうか、事業の原価の計算をして発表するというを一昨年からやっております、今年も過去3年分、2012、2013、2014年のデータを表示することで決算の発表をいたしました。この決算の発表の際に、250ぐらい事業がありますが、これは本当の簡略版です。実際には500ページを超える分厚い印刷物がありますが、お配りしたダイジェスト版の後ろに書いてありますように、ホームページを開いて自分で見たいと思ったところの事業名をクリックしていただくとそのページが出てくる。そのほうがいいと思います。今日は、ダイジェスト版を簡単に紹介させていただきたい

と思います。

4 ページ、5 ページに児童青少年課の学童保育費があります。事業の成果としては、子どもの数はどんどん減っていますが、2012年度2873人、2013年度3046人、2014年度3228人と入会児童は逆にふえています。少子化だけれども、学童保育はふえているということです。それから、遠距離にあるところ、学校内がないのが3つありまして、ここに書いてある三輪小学校、小山田南小学校、南第一小学校、この3つは学校内に学童がないです。5 ページの行政コスト計算書で見ていただくと、青い収入が特定財源と言われている部分で、親御さんからいただく育成料収入が約2億円で16.6%、市税等が約6億3000万円、53.6%、それをグラフにしたのが下の赤、青、緑のものです。育成料は月6000円、1年間で7万2000円です。国・都支出金が赤い部分で、残りは市税になります。入会児童1人当たりのコストは年間36万円、月3万円。これに月に6000円の育成料をいただいていることになります。したがって、16.6%、6分の1を保護者からいただき、6分の5は税金で行っている関係になります。結構学童のほうも安いといえは安いです。

二十何年前、私は横浜にいたとき学童保育に1万何がし払っていましたが、横浜はとても高いのです。学校の中には全然なくて、学校から遠いところにあって1万何千円払って、2人も入っていて3万円近く払っていて、しかも夏休みに動員されていましてから結構合わないなど。2人入れると、指導員にこれを手伝え、あれを手伝えと。1人だと言われなかったのですけれども、2人目を入れたらすぐ言われました。1万何がしと払っていたところを6000円ですから町田市は安い。10年前、選挙に出るときに保育料を2倍にしようと言ったら、翌日から、あれは一切言うなと言われましたのでいまだに言わない。なぜかという、東京都はほぼみんな5000円、全部横並びに近いです。だから、ちょっと飛び出そうとすると、ほかより何で高いのだと言われてしまうのでなかなか値上げできないのです。本当は値上げしたいのですけれども、当面、なかなか難しいかなと思います。

小学校給食、これは、この表がうまくないのです。なぜうまくないかという、町田市の会計を通っていないのに書いてある。9 ページ、小学校給食、保健給食課が担当しているのですけれども、1食当たり300円です。これは給食調理のコストです。すごくかかるよね。1食つくるのに300円、5人家族だと1500円、人件費に1500円かかっているのです。なぜかという、別途に食材費が250円ぐらいかかるのです。250円の食材費と300円の調理コストを足すと550円、これがはだかの原価。ここに写真が載っている、これは550円で提供する原価です。これに収益率を乗せると、この給食は幾らになるのか。八百幾らで売らないと元は取れないのです。でもお金は250円だけ取っているのです。ですから、これは民間の商売だととんでもない。人件費がかかり過ぎているし、材料費もかかり過ぎている。自分のところでやっていることだから言えないの

ですけれども、この食材で何で250円かかるのかと思います。

最後に、29ページ、市営住宅です。市営住宅は都営住宅と同じように世帯主の所得の制限があって、そのほかにもいろいろな制限がありますから、一般人というのは妙な言い方ですが、単に申し込んだからといって入れるものではありません。どうなっているかという、29ページに書いてあるとおり、住宅1戸当たりのコストは年間73万7000円、1軒当たり74万円だと思ってください。これを12で割ると6万円、月額6万円です。6万円払っているかという、払っていないです。3万円です。ここに円グラフが描いてあります。家賃収入は青で描いてあります。右の上で家賃収入は2億円弱ですが、割合は50%。コストの半分を入居者からもらっている。6万何がしかかかるところを3万円ぐらいで入っている。一般の賃貸の住宅事業は73万円コストがかかったら、お客さんからは100万円近く、85万円とか取らないと賃貸事業はできませんよね。ですから、家賃収入は110%とか120%取らないとだめなのですが、さっき言ったように所得制限がありますから家賃収入は5割、50%で都営も市営もやっているということです。

このような話が二百数十事業について全部出ておりますので、自分があれはどうなっているということで、もしチェックをしてみようということでしたら、パソコンでPDFを開いて見ていただければわかるようになっております。

《質疑》

玉川学園町内会

玉川学園町内会の〇〇と申します。

南大谷から三ツ又への話は確かにずっと聞いているし、いつ完成するかがお話しできないということももちろん理解しているのですけれども、大まかに言って5年先だとか9年先だとかいうぐらいは言えないのでしょうか。

建設部長

一番難しいご質問なのですけれども、先ほど申し上げましたが、これはまず用地取得がございます。手続はいろいろあるのですが、その中で始めますよといったときに、今始めているのですが、地形測量、それをもとにして道路の線形を、また、先ほど申し上げました川とダブっているところがありますので、それだとできませんので、やはり道路は道路というところでもっていかなければいけないという協議には入ってございます。ですから、年数は言えないのですが、私が一番時間がかかると思うのは用地取得だと思います。これは市の都合で用地を買わせてもらうとか云々ではなくて、皆さんが安全に使っていただく道路というところを見たときに、住んでいる方につきましては、用地を取得させていただくかわりにこちらに行きますよとかいうことではなくて、やはり

用地を買わせていただいて、あと基本はご自分で探してくださいというようなところがございます。それと、先ほどから話が出ている地域のコミュニティー、私はここに根づいて父親の代からずっと町内会に入っているんだというようなところがありますので、やはりそこは丁寧に説明をしながら用地の取得をしていきたいと。

用地の取得ができれば、あとは年数がどれぐらいかかるのだということで、今行っております都市計画道路に関しましては、まず歩道が当然できますので、その歩道の中に電線を下に入れます。今、無電柱化も進めております。市長からも道路についてはなるべく無電柱化にしろということで、新しい道路に関しましては現在無電柱化にしていると。これは、やはり啓開道路ですとか、こんなことがあってはいけないのですが、地震や災害があったときに道路を電柱がふさいでしまって、道路を使って食料を皆さんの手元に届けられないということもございますので無電柱化にすると。その無電柱化にするのと同時に、当然インフラの企業、ガスですとか下水ですとか、そういうものも入ります。それが入ってから道路の築造という形になりますので、用地取得が済めば、おおむね何年ぐらいというのはお話しできるのですが、用地取得が済みませんと、やはり何年というのはひとり歩きしてしまいますので、これはなかなか難しいのかなと考えております。基本的には、用地取得の中で延長もございませけれども、今ここで言っている南大谷から三ツ又に関しましては2本の路線を一緒にやろうと思っておりますので、当然年数的には10年は優にかかってしまうのかなと。その間に部分的に通れるようなものができれば、それはそれでまた考えていきたいと思っております。

それと、今〇〇さんがおっしゃっていただきました安全に関しましては、これは私だけではなくて市の間人全てが、まずは第一に優先したいと考えているのはわかっていたいただきたいのですが、その部分に関しては、ただやっていないということではなく、この都市計画道路についてはもう手がけておりますので、順次進めていきたいと考えているところです。そのときにもし何かまたあれば、皆さんにもご協力していただいて事業を進めてまいりたいと考えております。

南大谷町内会

南大谷町内会の〇〇でございます。

ことしの1月に、南大谷町内会長名で石坂市長宛に住居表示変更のお願い、早くやってほしいよと文書を出しました。たしか町内会長宛には検討しますということが来ていたのですが、いつごろ実現しそうなのかをお答えいただければと思います。

都市づくり部長

前回のこの市政懇のときにも南大谷のほうで早くやってもらえないかというお話をいただいて、そのときにお答えしたのは、ちょうど今小川と金森をやっています。その次に予定しているのは金井になっています。その先はまだどこをやるか決まっています。どういうところをやっていくかをまず決めるところから始めるのですが、南大谷はかなり有力ではないかというお話を差し上げたかと思います。実際、今度入っていくと、住民の方にやっていただくことは結構あります。例えば、免許証の住所変更とか、お店や会社だったら登記を変えたり。そうすると住所も変わるので名刺を変えたり、領収書から何から印刷物を全部変えて、カレンダーの印刷も変えてとかなり負担になって、皆さんが早くやってくれというばかりでも実はないと。いざ今後始めると、今度どういう名前がいいかということで、今、小川、鶴間のほうでは、町内会で合意を得たと思っていた名前が、どうもそれではよくないということで、初めてなのですけれども、公聴会をやるような段取りになっています。ですから、そういうのを地域で本当に皆さんがやってほしいというまとまりができるということは、かなり優先順位がかかってくるかと思えます。

話し合いを始めて、それからどういう名前にしようかというので、1カ所やるのに大体2年かかります。一番影響のない時期が、7月の海の日あたりだと年賀状やカレンダーの印刷もないし、引っ越しなどにも影響が少ないのでそういう時期を選んでやっているのですが、その7月の単位で2年かかって、順調にいけば来年7月に小川、鶴間をやって、その2年先に金井をやって、またその2年先が本町田なのか南大谷なのかというようにやっていくことになると思います。実際地域で合意形成をどうやっていくかは、都市づくり部の土地利用調整課で業務をやっていますので、実務がどのように進むかというのは、1度来ていただいてお話を聞いていただければと思います。

南大谷町内会

わかりました。訪問させていただきます。

建設部長

先ほどの〇〇さんからのご質問の中の、ちょっと情報なのですが、現在、小田急線が道路の上を通っております。あそこにちょうど「冠水ガード君」がございますが、都市計画道路に関しましても小田急線の位置が既存の道路からしても相当高い位置にあるということで、上を超えようとするとは相当高い位置でないと、電車が離隔を幾つとるとというのは、4 m50とか、当然とらなければならないということがありますので、現在町田市で考えていますのは、電車の下を抜けていく都市計画道路になるのかなということです。そうすると、当然既存の道路、この接道もあるのですが、そちらのほうが素直に

いくのかなと考えています。ただ、そのときには先ほど申しあげました現在の道路と同じように下に行くということで、これは水の処理をまた考えていかなければならない。「冠水ガード君」1基だけでは当然もちませんので、相当立派な施設をつくっていかねばいけないというところがありますが、上というのは相当高い位置なので、やはり下に……。

玉川学園町内会

私も上なんていうのは考えていないけれども、あれがもっと広がるのかなと思ったので。

建設部長

都市計画道路の幅は16mということで決まっております。ただ、あとは交差点の部分でそれよりも少し広くなって、右折レーンですとか、そういうものができますので、その部分についてはしっかりと設計のほうで見ていきたいと思っているところです。

玉川学園第一住宅自治会

第一住宅自治会の〇〇と申します。

最初にお礼なのですが、私ども三丁目と本町田の境界線の農道に、鶴川街道に出る道が非常に暗いので明かりをとということで街路灯の要請をしました。正式には4月に要望書を出して10月7日に完成していただいて、大変明るくなって、通行だけではなくて、今まで真っ暗のときには放火が3件あったと。それからごみが捨てられたとかいろいろあって、思った以上に感謝されました。

いろいろとご相談する経緯の中で、4月に要望書を出して、いつごろ決まりますかという話なのですが、結局、案件を取り上げるかどうかの協議の時期が最終的には8月、12月、2月とお聞きしました。それがはっきりしていれば8月に合わせて出すとかいろいろなことになると思うのです。市民感覚としては、いろいろな要望を出せばすぐ協議していただけるかなという期待が当然あるわけです。今回の案件について、あるいは道路行政関連については数の問題もあります。それから予算の問題もあるからかもしれませんが、さっきの8、12、2月が正確かどうかわかりませんが、そういう決まりがあるのであれば、それは基本的にどういう問題についてはこの時期ですということをお教えいただきたい。これから地区協議会でもいろいろな要望が出てくると思うので、その辺の決まりがあるのであれば教えていただきたい。

建設部長

ありがとうございます。決まりは基本的にございます。ただ、街路灯のご

要望は相当多いのですけれども、既存で共架されている電柱に街路灯ですとか、あとは単独でついているものもございます。その中で、やはりワット数を大きくすれば済んでしまうようなものは審査会にはかけません。何もないところで欲しいという場合については、当然現場に行って現地を確認して、審査会にかけて設置するしないの判断をさせていただく形になっております。ですから、既存であるもので古くなると暗くなってきてしまうものに関しては器具を交換したりするところではありますけれども、新規でつくるものについては費用も相当かかりますので、極端なことを言いますと、本年度できませんので来年度早々に設置させていただきますというようなお話をさせていただいているところです。もしそういうことが今までなかったということであれば、私のほうで、道路管理課の街路灯係なのですが、窓口のほうにその旨周知はするようにしますので、いろいろ時間がかかって申しわけないのですが、なるべく早くしたいと思っております。

街路灯のご質問をいただきました。よく皆様からカーブミラーを設置してほしいというのもございます。このカーブミラーの設置基準も見直しまして、今までよりは設置する方向で考えてはおるのですが、これも審査会がございします。審査会の中で設置できるできないというところをしっかりと確認して設置していきたいと。カーブミラーに関しましては、設置したことによって危なくなる部分もございます。見えなくなってしまう部分ですとか、カーブミラーを100%信用して車が出ていってしまっって自転車と当たってしまったというようなことを聞くこともございますので、そこは慎重にまず安全ということを見ていきたいと考えているところでございます。審査会は基本的に3回を考えています。ただ、今ある支柱が曲がってしまったとか、ミラーが一部破損しているというような場合については、そういう審査会にはかけないで処理をしていこうと考えているところです。

○閉会の挨拶（南大谷町内会顧問）

きょうは雨の中、各部長さんに来ていただきまして、また市長さんにも来ていただきまして、ありがとうございます。私どもの要望についても丁寧にお答えいただきましてまして、ありがとうございます。

きょう、全てが明らかになったということではございませんけれども、また来年度もこういうものを続けさせていただきまして、ぜひとも私たちが住みやすい玉川学園・南大谷地区をつくっていききたいと思っております。どうぞまたいろいろご指導をお願いしたいと思います。

本当にありがとうございます。（拍手）

以上